

コースメモ
115. 橋ー48 (現在使用無)
116. 取水口ー⑮ 松木へ
117. 橋ー49(松木へ)
118. 取水口ー⑮ 転倒堰
119. 橋ー50(幼稚園へ)
120. 取水口ー⑲ 裂田溝標識柱 説明板
121. 橋ー51
122. 橋ー52 合成の天神社へ
123. 橋ー53
124. 橋ー54 安徳小学校裏フェンスの前
125. 橋ー55 安徳小裏門
次号へ 五郎丸の集落

史跡メモ
エゲ古墳 (4世紀後半) 割竹型木管と四獣形鏡
カクチガ浦遺跡群 (弥生・平安時代) (氷室出土)
ごりんのとう 五輪塔(経塚)
裂田溝標識柱・説明板
天神社(合政)
猿田彦命(合政)
忠霊塔(安徳村)昭和30年建立
天神社(松木)
疫神社(松木天神社境内)
猿田彦命(松木)
サイフォン式水路 (瀬戸)

平安時代(約1300〜800年前)の「氷室跡」が発見されています。氷室は氷を保存する施設です。

裂田溝の本流には、橋ー49の北側に取水口ー⑮があり、橋ー50のそばにある取水口ー⑲の両側には裂田溝の標柱や、由来を記した説明板が立っています。由来の一文に『日本書紀には、他にも人工の溝の名前が記されていますが、場所がはつきりするのはこの裂田溝だけで、今に残る貴重な資料といえるでしょう』とあります。橋ー51を過ぎ、次の橋ー52を渡ると合政の「天神社」があります。御神体は現在松木の「天神社」に合祀され、明治28年刻字の鳥居と参道に猿田彦命があり、北側に忠霊塔もあります。次は橋ー54、橋ー55へと続き、東側には創立125年の歴史を持つ安徳小学校があります。学校のそばを流れる裂田溝の由来を知った児童たちは、郷土の歴史に目を輝か

せて溝を見ながら歩いているそうです。郷土史家の卯たちに期待がいつばいです。

梶原川に架かる松木橋の近くに、松木「天神社」があります。御祭神は植安神で、社殿は万延元年(1860)・明治・昭和と改築され、現在の社殿は平成7年の落慶記録があります。拜殿には安政7年(1860)の絵馬の他13枚が奉納されています。「疫神社」の御祭神は、八衢彦命・八衢比売命・久那度命が祀られています。この三柱は道の要所を塞いで、外からの悪鬼や病魔の侵入を防ぐ神といわれています。12月18日、祭典が行われ、珍しい朝の「火たき(もり)」が行われます。祭りでは災いの無い新年を祈願し、御神酒がふるまわれます。神社裏の四つ角に猿田彦命があります。

次号は五郎丸周辺を紹介します。



まつのき 松木天神社 疫神社
天神社の裏の四つ角に猿田彦命が祀られています。



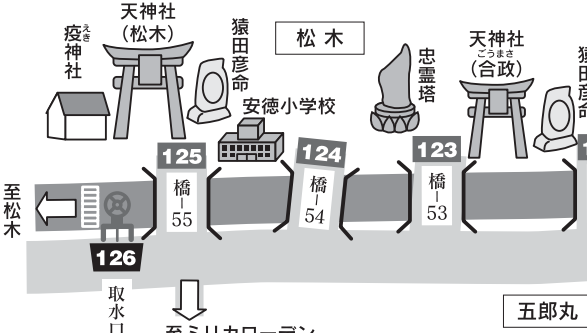
カクチガ浦遺跡群
氷室跡
氷室は氷を保存する施設で溶け出した水を排出するための施設もあります。日本では非常に珍しい遺跡です。氷は、夏に鴻臚館や太宰府で、外国から来たお客さんにふるまわれたのかも知れません。



裂田溝(安徳のサイフォン式吹上用水路付近)を散策する安徳小学校の児童たち。



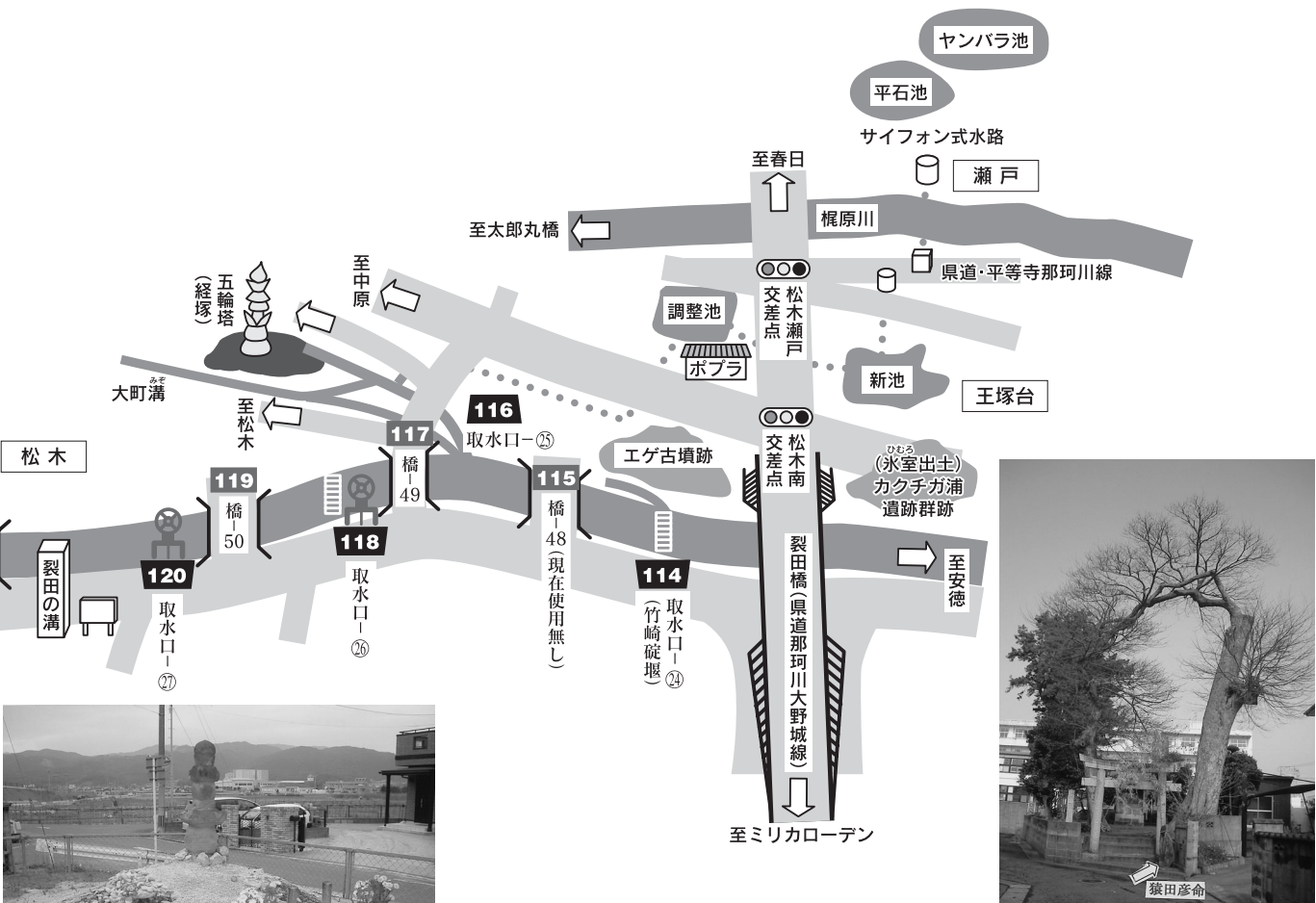
まつのき せ と 松木瀬戸にあるサイフォン式水路用の枡
現在、九州新幹線工事のため現地には行けません。



白いガードレールの右側が裂田溝です。右側の家並みが松木地区、田の畦に裂田溝の説明板が立っています。

裂田溝沿いの道は「竹崎碇堰」を過ぎると、五郎丸方面と、松木方面へ行く道との二差路に分かれます。橋ー49を渡った南側に取水口ー⑮があり、ここから北へ向かう水路を「大町溝」といいます。区画整理以前、この先一帯は「大町田」といわれる広々とした田んぼがありました。その水は巡って「太郎丸橋」近くの梶原川に架かる水路を渡り、向い側の中原地区へと流れていました。松木地区の田んぼが広がった頃は、裂田溝の水だけでは足りないため、はるばる下梶原の山中から水を引き、「大町溝」の起点へ流れ込む水路が作られていました。水源のヤンバラ池から落ちる水は平石池に溜められ、ここか

ら小川となって山を下ります。梶原川と最も近づく所に正方形の「枡」があります。この「枡」から梶原川にサイフォン式の通水管を通し、対岸の瀬戸を経由して、県道・平等寺那珂川線を横切って王塚台の東斜面に上り、北公園の「新池」に入ります。斜面の途中に地下水路の点検用「枡」が2カ所あります。「新池」に貯水した水はすぐ下の調整池に入り、コンビ二前の道路を横切って、サンリヤンマンションの前を通り、「大町溝」の起点の側溝へ流れ込みます。ここには、水不足に備えて造ったポンプ室が残っており、そばに区画整理の際移された「五輪塔(経塚)」があります。水路はここまで地下を通っているため、見ることは出来ません。この水路は総延長がどれくらいあるのでしょうか。いつ頃造られたのか定かではありませんが、このような遠大な工事は、一地区の農家だけで出来るはずもなく、おそらく水不足に苦しむ農民の思いや力が結集し協同で取り組み、この一大事業を完成させたのでしょうか…。先人の知恵と土木技術の確かさに深く感銘しました。『昔はね、裂田溝の水もこの当たりまで来ると、水量が少ないうから田んぼの水に困り、「堰落し」と言って、当番を決めて夜に上流にある堰の水落しに行っていました』と、水の苦勞を語る古老もおられます。この王塚台北側の丘陵に「カクチガ浦遺跡群」がありました。奈良・



ごりんのとう
五輪塔(経塚)
元は安徳北小学校近くにありました。



合政の天神社
鳥居の前に猿田彦命が祀られています。祠の北側に安徳村の忠霊塔があります。

探訪 110 ながわ

那珂川町郷土史研究会

裂田溝37

まつのき 松木地区周辺

